

## 絶滅危惧 I A 類ミナミアカヒレタビラの保全に向けた地元と連携したイベントの実施について

### 1 概要

環境省の絶滅危惧 I A 類に指定されているミナミアカヒレタビラは、石川県輪島市を流れる町野川流域の湿地に生息しており、国内における分布の最北端に位置する希少な淡水魚です。当該生息地では、これまで地元農業者や小学生により、環境教育の一環として生き物観察などの活動が継続されてきましたが、令和6年能登半島地震により、環境に大きな変化が生じました。そこで、のと海洋ふれあいセンター主催イベントの「石川の自然談話会」では、地元住民、一般参加者、専門家が協働して現地の生き物を観察し、震災後の現状を共有するとともに、今後の保全や地域との関わり方について意見交換を行う場とすることを目的としています。また採集した個体は、のとじま水族館へ搬入し、域外保全飼育も予定されております。

2 主 催 のと海洋ふれあいセンター

3 協 力 片桐由希子 准教授(金沢工業大学)、坂本貴啓 講師(金沢大学)、  
柳井清治 特任教授(石川県立大学)、のとじま臨海公園水族館

4 イベント名 石川の自然談話会「能登の湿地で生き物調査」

5 日 時 令和8年2月28日 13:00～16:00

6 場 所 【集合】輪島市町野支所(石川県輪島市町野町川原田 22)

【活動】町野川の湿地(※希少種の生息地保護のため、詳細な場所は非公開。)

7 定 員 20名程度

8 申し込み のと海洋ふれあいセンターへ前日(2月27日)までにご連絡ください

/ 問合せ 電話:0768-74-1919、E-mail: nmci@notomarine.jp

### 9 スケジュール

13:00 集合・活動場所へ移動

13:30 開会・活動開始

活動内容 ①湿地や水路での生き物調査、②生き物の観察・解説、③湿地の見学

15:15 意見交換

15:45 活動終了・集合場所へ移動

16:00 閉会

### 10 生物の希少性

ミナミアカヒレタビラは、繁殖のために淡水性二枚貝を必要とする魚です。さらに、その二枚貝の繁殖にはヨシノボリなどハゼ類が不可欠であり、本種の保全は生き物のつながりを守る必要があります。



# 能登の湿地で生き物調査

令和8年2月28日(土)

13:00～16:00

集 合：輪島市町野支所（石川県輪島市町野町川原田22）

活動場所：町野川の湿地

能登半島地震や奥能登豪雨により、川や湿地の環境は大きく変わりました。復旧が進む一方で、震災後の生き物の様子は、まだ十分に分かっていません。能登の川は希少な生き物がすむ場所であり、里山と里海をつなぐ身近な自然でもあります。本イベントでは、地元の方々と一緒に湿地や水路で生き物調査をしながら、能登の今を知り、これからについて語り合います。

## スケジュール

13:00 集合・活動場所へ移動

13:30 開会・活動開始

① 湿地や水路での生き物調査 ② 生き物の観察・解説 ③ 湿地の見学

15:15 意見交換

15:45 活動終了・集合場所へ移動

16:00 閉会

## 持ち物

- ・汚れても良い暖かい格好
- ・ウェダーやタモ網は貸し出し可能（数に限りがあるため、お持ちの方はご持参ください）

## 協力専門家

- ・片桐由希子 准教授（金沢工業大学） 坂本貴啓 講師（金沢大学） 柳井清治 特任教授（石川県立大学）

定員：20名程度 参加費：無料

お問い合わせ・申し込みは のと海洋ふれあいセンター まで

〒927-0552 石川県鳳珠郡能登町字越坂3-47

TEL：0768-74-1919、FAX：0768-74-1920、E-mail：nmci@notomarine.jp



いしかわ自然学校  
★石川県民大学校  
教養講座 1単位